

# MIOX Mixed Oxidant Virus Buster Water™

マイオックス ウイルスバスターウォーター



April 9, 2020 #2



## 現場で戦っているからこそわかる感染防止対策、手指衛生の重要性

現在、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を奮っています。災害の現場や、病院内でも、日頃の感染防止対策、特に手指衛生の重要性を痛感させられます。感染防止は、手指衛生に始まり手指衛生に終わると言っても過言ではありません。皆さんもご存知の通り、私たちの手がウイルスを運び感染を広げていくからです。ウイルスは目に見えないからこそ日頃から衛生習慣をつけておく必要があります。

MIOX Virus Buster Waterは、主に、3点の特筆すべき優れた特徴があります。1点目として、その除菌効果です。コロナウイルスは、エンベロープという膜を持っています。この膜を壊してウイルスにダメージを与えると、ウイルスを不活性化できます。MIOX Virus Buster Waterは、エンベロープ膜を破壊します。つまり、コロナウイルスにも有効といえるわけです。中には、濃度が表記されていない消毒液を多く見かけますが、エンベロープ膜を破壊するためには、70%以上の濃度が欲しいところです。いくら手指衛生を心がけても、効果がなければ意味がありません。MIOX Virus Buster Waterは、確実な除菌作用で効果を発揮します。

2点目は、安全安心な除菌作用という点です。アレルギーやアトピーなど、肌の弱い子供には、高濃度のアルコール消毒液や次亜塩素酸は、使えば使うほど辛い結果になります。大人でも、頻回の手指消毒のため、手荒れし、その手荒れが感染リスクを増やすという皮肉な結果にもなり得ます。MIOX Virus Buster Waterは、高度な技術を用い、塩と水で作られたいわゆる、食品添加物と同等の商品です。何度使っても、除菌効果を保ちつつ、人体にほとんど影響なく、安心して使う事ができる、肌リスクのある人にとって救世主といえるでしょう。

3点目は、除菌効果の持続性です。今、医療関係者は言うまでもなく、私たち国民一人一人の衛生管理如何で左右される局面に至っています。効果もあるが不都合もある、アルコール消毒や、次亜塩素酸に頼ってきたこれまでの殺菌の歴史を覆す商品が、やっと私たちの手元に届く日が来ました。新型コロナウイルスと戦う武器でもあるMIOX Virus Buster Waterを備え、明るい未来を迎えたいですね。

※個人の感想です



総合医療診療医  
松本英裕先生

産業医科大学卒業後、日本各地の労災病院で整形外科医として活躍。院内感染防止対策にも積極的に取り組む。現在、総合医療診療医の傍ら、西都児湯郡医師会会長として、主要機関と連携を図りながら、新型コロナ感染拡大防止に尽力中。

AMAT 会員  
日本環境感染学会会員  
日本職業・災害医学会会員  
産業医  
学校医（小学校）  
新型コロナ感染症感染対策委員

総合診療医 松本英裕 

MIOX Virus Buster Waterは、塩と水を混合した希釈塩水を特殊な電解セルで分解して生成する強力な混合酸化剤です。NSF International Official Listing ANSI/NSF Standard 61の認証を取得し、国内では公益財団法人日本水泳連盟の推奨を受けています。



Inactivation of *Cryptosporidium parvum* Oocysts and *Clostridium perfringens* Spores by a Mixed-Oxidant Disinfectant and by Free Chlorine

LINDA V. VENCZEL,<sup>1</sup> MICHAEL ARROWOOD,<sup>1</sup> MARGARET HURD,<sup>1</sup> AND MARK D. SOBSEY<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>University of North Carolina, Chapel Hill, North Carolina 27599, and Division of Parasitic Diseases, Centers for Disease Control and Prevention, Atlanta, Georgia 30341  
Received 13 September 1996/Accepted 22 January 1997

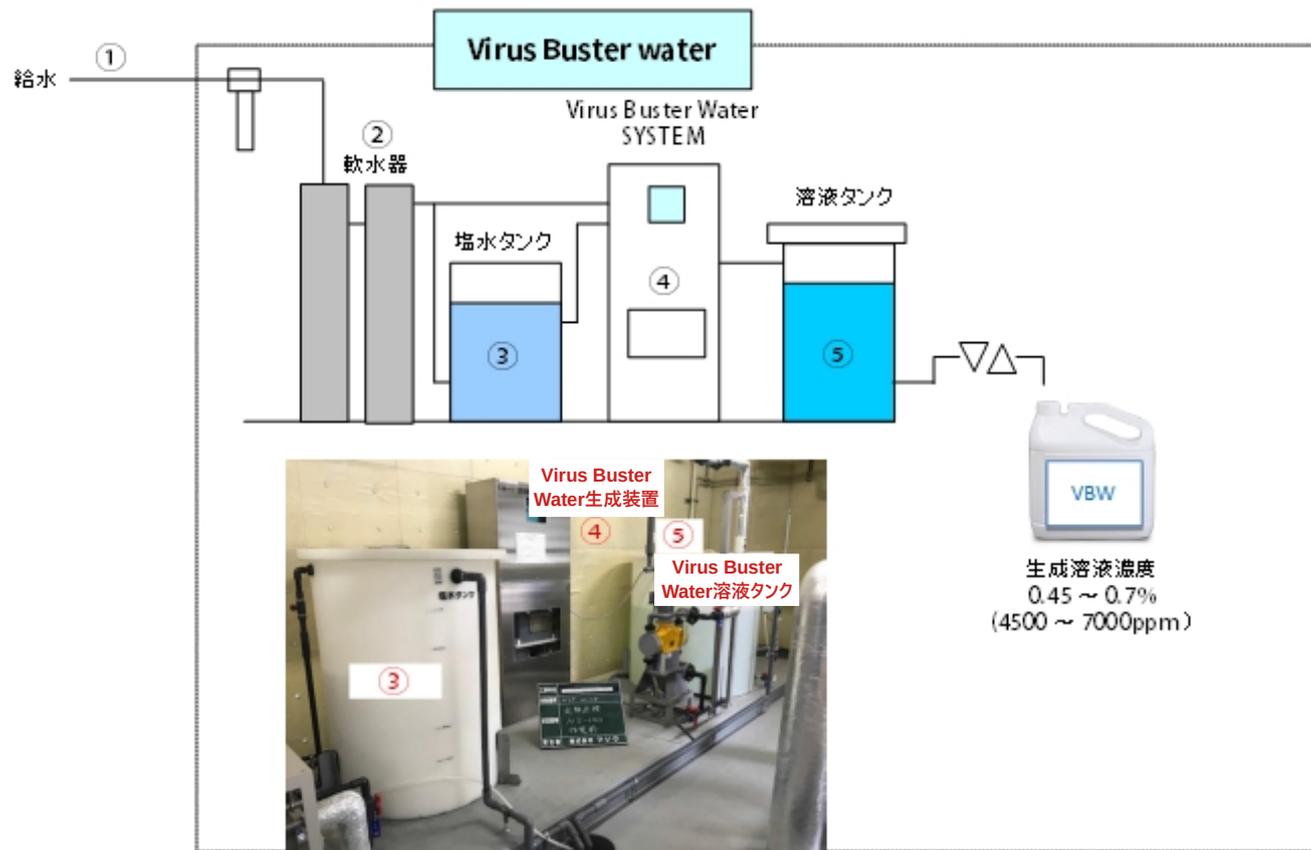


JAPAN Swimming Federation  
公益財団法人日本水泳連盟

- ①安心、安全で、人と施設と環境にやさしい  
⇒ 国連の「持続可能な開発目標SDGs」に寄与
- ②ペンタゴン（アメリカ国防省）の特許技術
- ③NSF International Official Listing ANSI/NSF Standard 61の認証を取得

- ④CDC（アメリカ疾病管理予防センター）が、MIOX Virus Buster Waterに関する論文を発表
- ⑤公益財団法人日本水泳連盟がMIOX Virus Buster Waterを推薦
- ⑥独自の特殊電解セルにより、酸化特性を持った物質を生成。  
塩素に比較して除菌力は7~10倍、除菌スピードは3,500倍以上

①水道水 → ②軟水化 → ③塩水 → ④電気分解 → ⑤MIOX Virus Buster Water溶液



混合酸化剤溶液の生成プロセスは、電力と水 (H<sub>2</sub>O) + 塩 (NaCl)を使用します。主な反応は下記のようになります。

## ■陽極 (+) 生成物

Cl<sub>2</sub> or HOCl 塩素・次亜塩素酸

ClO<sub>2</sub> 二酸化塩素

O<sub>3</sub> オゾン

O<sub>2</sub> 酸素

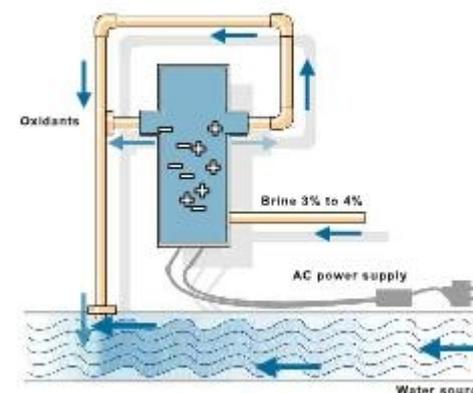
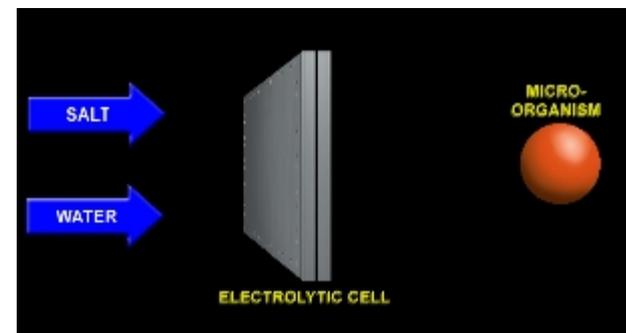
H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> 過酸化水素

OH<sup>0</sup>, OH<sup>+</sup> ヒドロキシルラジカル

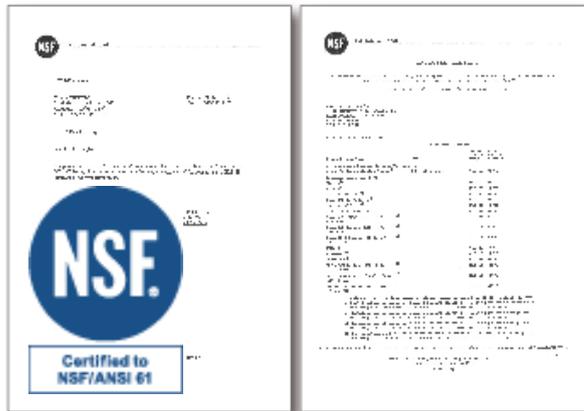
## ■陰極 (-) 生成物

NaOH 水酸化ナトリウム

H<sub>2</sub> 水素



上記の反応を経て、最終的には活性された次亜塩素酸ベースの強力な酸化剤を生成



公衆安全衛生分野における  
国際的第三者認証機関  
NSF International  
ANSI/NSF Standard 61  
の認定を取得。  
米国だけでなく、国内でも  
既に100箇所を越える導入  
実績があります。

- ・米空軍横田基地
  - ・大阪医療センター
  - ・東京都水道局
  - ・東京大学
  - ・東京女子体育大学
  - ・日本大学
  - ・立教大学
  - ・大阪千里阪急百貨店
  - ・モザイクモール港北都築阪急
- ・生活協同組合連合会
  - ・(株)シーエックスカーゴ
  - ・プレミアムウォーター(株)
  - ・レキオ・パワー・テクノロジー(株)
  - ・医療法人社団 博翔会
  - ・全国石油業共済協同組合連合会
  - ・JR広島ステーションビル
  - ・箱根小涌園ユネッサン

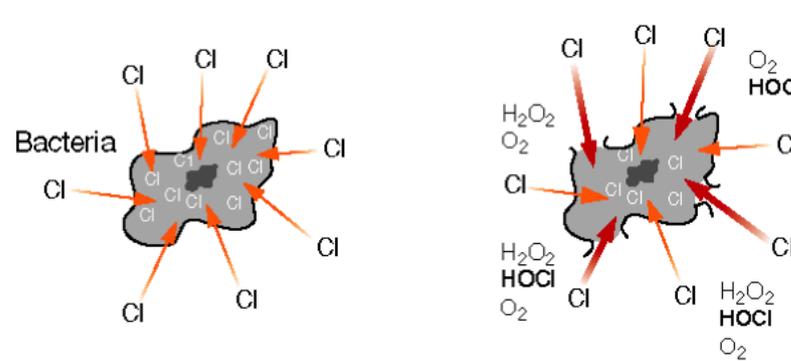
※全国公共施設、民間スポーツ施設、スパ、温浴施設などでのご利用を頂いている他、エタノール・塩素より安心安全で効果が持続する(高残留性)強力な除菌剤として数多くの優良企業に導入頂いています。

## 2. 小学校・中学校・高等学校・大学等

No	納入先	型式	以前の消毒	用途
1	岐阜県八百津町 八百津町立保育園屋外プール	40	次亜塩素酸ナトリウム	保育園屋外プール 平成15年7月
2	長野県諏訪郡原村 原小学校屋外プール	251	新設	屋外学校プール 平成15年9月
3	東京都文京区 東京大学・御殿下記念館温水プール	80	次亜塩素酸ナトリウム	屋内温水プール 平成16年7月
4	神奈川県横浜市 日本大学高等学校・中学校温水プール	251	新設	室内温水プール 平成16年12月
5	東京都文京区 東京大学・第二食堂温水プール	80	次亜塩素酸ナトリウム	室内温水プール 平成19年5月
6	東京都品川区 立正中学・高等学校温水プール	80	次亜塩素酸ナトリウム	室内温水プール 平成19年5月
7	東京都国立市 東京女子体育大学温水プール	140	次亜塩素酸ナトリウム	室内温水プール 平成19年9月
8	神奈川県横浜市 神奈川県立金沢養護学校	40	新設	室内温水プール 平成19年10月
9	東京都八王子市 多摩なかよし幼稚園	20	固形塩素	室内プール 平成21年8月
10	山形市 山形市立東小学校	80	新設	屋外プール 平成22年9月
11	東京都大田区 立正中学・高等学校温水プール	80	新設	屋内温水プール 平成24年11月
12	東京都豊島区 立教大学・池袋総合体育館	251	新設	屋内温水プール 平成24年11月
13	東京都 日本大学・豊山高等学校	80	新設	屋内温水プール 平成27年5月
14	東京都世田谷区 日本大学・三軒茶屋キャンパス	80	新設	屋内温水プール 平成27年11月
15	東京都目黒区 日出学園	80	新設	屋内温水プール 平成31年2月

- バイオフィルムの除去
- 優れた除菌力
  - クリプトスポリジウムからVXガスまで
- 塩素臭低・低刺激性
- 低腐食性
- 安全・安心（塩+水+電気）
- 広範囲に適用可能
  - 飲料水、医療機器洗浄、風呂、食品、環境除菌など

## バイオフィルム破壊原理



次亜塩素酸ナトリウム

Virus Buster Water

MIOX Virus Buster Waterは、アメーバのシストを破壊。内部からバイオフィルムを破壊し除去します。

## 次亜塩素酸



恒久的なバイオフィームの固着

大腸菌、レジオネラの検出

1.5mg/l 有効塩素濃度で循環管理

残留塩素は0.2mg/lに低下

## Virus Buster



Virus Buster Waterに変更して10日経過。バイオフィームは完全に除去

大腸菌、レジオネラは不検出

0.6mg/l 有効塩素濃度で循環管理

残留塩素は0.4mg/lに維持

下記に記載した寄生虫、ウイルス、細菌に対して全て死滅、または不活性化の能力を実証しています。

## 寄生虫類

- *Giardia lamblia cyst*  
ジアルシア (ランブル型鞭毛虫)
- *Cryptosporidium parvum oocyst*  
クリプトスポリジウム・オーシスト
- *Giardia muris*  
ジアルシア (ムリス型鞭毛虫)

## ウイルス類

- *Bacteriophage f2*  
バクテリオファージ (+ RNAウイルス)
- *Hepatitis virus analog f2*  
肝炎ウイルス
- *Bacteriophage MS2*  
腸内細菌ウイルス (+ RNAウイルス)
- *Vaccinia virus (Smallpox)*  
天然痘ウイルス

## バクテリア類

- *Escherichia coli* 大腸菌
- *Bacillus anthracis stem spore* 炭疽菌 (芽胞)
- *Bacillus globigii spore* 枯草菌 (芽胞)
- *Bacillus subtilus spore* 枯草菌 (芽胞)
- *Bacillus stearothermophilus spore* グラム陽性芽胞菌
- *Clostridium perfringens spore*  
クロストリジウム・パーフリンゲンス ウェルシュ菌
- *Francisella tularensis LVS* 野兔病菌
- *Yersinia pestis* ペスト菌
- *Klebsiella terrigena* 陰性桿菌
- *Vibrio cholerae* ビブリオ菌コレラ
- *Legionella pneumophila* レジオネラ菌
- *Pseudomonas aeruginosa* 緑膿菌
- *Awrobie bacteria (cooling water)* 好気性バクテリア (冷却水)

## エビデンス資料一覧

No	内容	対象	分析機関・発表機関	備考
1	細菌に対する殺菌力	黄色ブドウ球菌、大腸菌、O157、サルモネラ菌、レジオネラ菌	株式会社田辺R&Dサービス	田辺製薬グループ
2	セレウス菌への効果	小豆(サルタンビア豆)に付着しているセレウス菌	財団法人 岡山県健康づくり財団	
3	クリプトスポリジウムに対する不活性化	クリプトスポリジウム	北里大学医学部微生物学 実験センター 北里環境科学センター	
4	被災死亡者の腐敗防止・悪臭発生防止	腐敗細菌	NPO環境国際総合機構 会長 摂南大学 大学長付客員教授 農学博士・獣医師 宮田秀明	
5	製品安全データシート	Mixed Oxidants 混合酸化剤(電解水 次亜塩素酸ナトリウム)	株式会社エヌ・エス・ピー	
6	安全データシート	NSPソルト	株式会社エヌ・エス・ピー	
7	いわゆる電解水の取り扱いについて	食品衛生法の規格基準に適合	株式会社エヌ・エス・ピー	
8	カット野菜への効果	一般細菌、大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ	株式会社GFF	ゼンショーグループ
9	NSP・MIOXを使った豆腐製造	大豆に付着している一般生菌、土壌菌	相模屋食料株式会社	
10	横田基地への導入事例	井戸水の飲料化	水道産業新聞	

# MIOX Virus Buster Water除菌力 ※不活性化試験データ SURIYA

微生物種類	初期塩素濃度	初期微生物数①	接触時間②	Log 不活性化
<i>Giardia lamblia</i> ジアルジア	3.5mg/L	$4.5 \times 10^3$	30分	4 Log 99.99%
<i>Escherichia Coli</i> 大腸菌	4.0mg/L	$1.0 \times 10^6$	60分	6Log ③ 99.9999%
<i>Vibrio Cholerae</i> コレラ菌	1.0mg/L	$9.2 \times 10^5$	60分	6Log ③ 99.9999%
<i>Hepatitis Virus Analog(F2)</i> 肝炎ウイルス	1.0mg/L	$1.0 \times 10^6$	60分	6Log ③ 99.9999%
<i>Bacillus Subtilis</i> 枯草菌	4.0mg/L	$1.0 \times 10^6$	60分	4 Log 99.99%
<i>Legionella Pneumophila</i> レジオネラ菌	1.0mg/L	$1.0 \times 10^7$	60分	4.5Log 99.997%
<i>Cryptosporidium P.Oocyst</i> クリプトスポリジウム	5mg/L	$1.0 \times 10^6$	240分	4 Log 99.99%
<i>Cryptosporidium P.Oocyst</i> クリプトスポリジウム	5mg/L	$1.0 \times 10^6$	24分	2Log 99%

注\* ① 1 mL中の細菌数 ②初期の5分で95%以上が不活性化

③細菌は検出されず



20ppm, 400ml

20ppm, 1,000ml

手指の除菌、超音波加湿器で空間除菌に



100ppm, 400ml

100ppm, 1,000ml

家庭、オフィス、厨房等あらゆる除菌に

# Appendix

4週間の平均腐食速度溶出試験 (mg/l)								
0.2 mg/L 注入率					1.2 mg/L注入率			
Virus Buster Water		次亜		Virus Buster Water		次亜		
	Total Pb	Total Cu	Total Pb	Total Cu	Total Pb	Total Cu	Total Pb	Total Cu
Pb	.16	-	.20	-	.14	-	.31	-
Cu	-	.20	-	.47	-	.17	-	.45
Pb/Cu	.17	.10	.21	.51	.14	.04	.38	.48

※鉛の溶出性は、次亜の20%減、銅の溶出性は、45%減

※Virus Buster Waterは、通常の次亜塩素酸ナトリウムより腐食性が少ない

Spauldingによる汚染危険度分類及び医療器具類を基にした、感染の危険度による医療器具の分類

	定義	感染のリスク	処置	対象器具
<b>Critical</b> (クリティカル器具)	通常無菌の組織や血管に挿入されるもの	微生物(芽胞を含む)に汚染された場合、感染するリスクは高い	<b>滅菌</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>滅菌されたものを購入する</li> <li>高圧蒸気滅菌</li> <li>熱に不安定なものはEOG滅菌</li> <li>化学的滅菌剤(2%グルタルアルデヒド、7.5%過酸化水素、過酢酸)</li> </ul>	手術器具 心臓カテーテル 尿路カテーテル インプラント
<b>Semicritical</b> (セミクリティカル器具)	損傷のない粘膜および創のある皮膚に接触するもの	粘膜は芽胞に対しバリアとして働くが、その他の微生物については侵入口となる	<b>高水準消毒／(中水準消毒)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学的殺菌剤を使った高度消毒(グルタルアルデヒド、7.5%過酸化水素、過酢酸)</li> <li>滅菌(軟性内視鏡、気管内チューブ、麻酔呼吸回路、膀胱鏡)</li> </ul>	呼吸器治療装置 麻酔装置 内視鏡 ペッサリーリング
<b>Noncritical</b> (ノンクリティカル器具)	損傷のない皮膚と接触する器具	損傷のない皮膚はほとんどの微生物に対しバリアとして働く	<b>洗浄／(低水準消毒)</b> <p>損傷のない皮膚とのみ接触する器具類は洗浄のみで十分である</p>	ベッドパン 血圧計、松葉杖 ベッドレールライン ベッドサイドテーブル 食器類、家具類

※現在の医療用器具洗浄における種類と分類。各種に長所と短所がある

微生物種類	初期塩素濃度	初期微生物数①	接触時間②	Log不活性率	微生物種類	初期塩素濃度	初期微生物数①	接触時間②	Log不活性率
<i>Giardia lamblia</i> ジアルジア	3.5mg/L	4.5 × 10 <sup>3</sup>	30分	4 Log 99.99%	<i>Bacillus Subtilis</i> 枯草菌	4.0mg/L	1.0 × 10 <sup>6</sup>	60分	4 Log 99.99%
<i>Escherichia Coli</i> 大腸菌	4.0mg/L	1.0 × 10 <sup>6</sup>	60分	6Log③ 99.9999%	<i>Ligionella Pneumophila</i> レジオネラ菌	1.0mg/L	1.0 × 10 <sup>7</sup>	60分	4.5Log 99.997%
<i>Vibrio Cholerae</i> コレラ菌	1.0mg/L	9.2 × 10 <sup>5</sup>	60分	6Log③ 99.9999%	<i>Cryptosporidium P. Oocyst</i> クリプトスポリジウム	5mg/L	1.0 × 10 <sup>6</sup>	240分	4 Log 99.99%
<i>Hepatitis Virus Analog(F2)</i> 肝炎ウイルス	1.0mg/L	1.0 × 10 <sup>6</sup>	60分	6Log③ 99.9999%	<i>Cryptosporidium P. Oocyst</i> クリプトスポリジウム	5mg/L	1.0 × 10 <sup>6</sup>	24分	2Log 99%

注\* ① 1 mL中の細菌数、②初期の5分で95%以上が不活性化、③細菌は検出されず

分類	消毒薬	効果
高水準消毒	グルタラル フタール 過酢酸 <b>Virus Buster Water</b>	大量の芽胞を除き全ての微生物を殺滅
中水準消毒	次亜塩素酸ナトリウム アルコール ポビドンヨード	芽胞以外の全ての微生物を殺滅
低水準消毒	塩化ベンザルコニウム クロルヘキシジン 両性界面活性剤	結核菌、ウイルス、消毒薬に抵抗性の菌を除いた微生物を殺滅

※消毒薬使用ガイドライン2015では、次亜塩素酸ナトリウムは、芽胞に対して効果が薄く、中水準消毒の分類になっているが、Virus Buster Waterは、芽胞菌に対しても殺滅できる為、高水準消毒と同等の位置付けとなり得る

高水準消毒薬の代表的な、グルタラール、過酢酸、フタラールなどは、中水準消毒薬の次亜塩素酸ナトリウムと比較して以下の制約がある。

過酢酸は、蛋白質や有機物との反応性が低くそれらの影響が無く濃度の著しい低下が無い事が利点であるが、逆を返せば、蛋白質、特に有機物を溶解するような作用は特質して見込めず血液の処理や汚物（吐物、排泄物）には不適であり、逆に次亜塩素酸ナトリウムは推奨されている。

高水準消毒薬（グルタラール、過酢酸、フタラールなど）は、揮発性により暴露し人体への影響が懸念される事から環境の消毒には使用は推奨されていない。

刺激性が認められる為、人体への直接的な使用（皮膚・粘膜など）に関連する使用も不適とされている。

MIOX Virus Buster Waterは、高水準消毒薬の代表的な、グルタラール、過酢酸、フタラールの能力を持ち、さらに次亜塩素酸ナトリウムの良い所もリカバリーする除菌剤である。

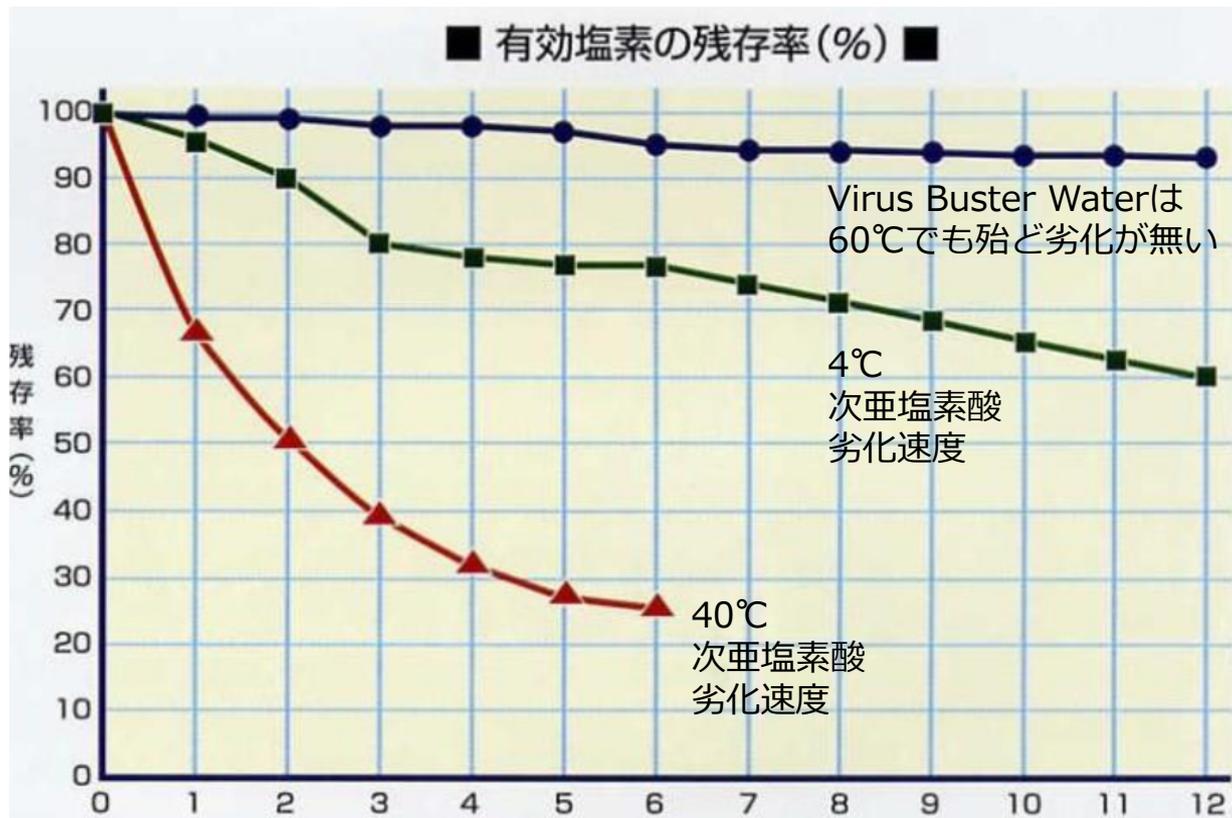
## 《コストと多様性の差別化》

高水準消毒薬の代表的な、グルタラール、過酢酸、フタラールは、非常に高価であり、使用の限定を受け、食品添加物に指定されている次亜塩素酸ナトリウムと比較しても多様性がやや劣る。

MIOX Virus Buster Waterは、高水準除菌剤としても使用でき、且つ幅広い除菌のスペクトルにより、環境除菌、風呂・ウイルス感染対策、食材除菌など、多岐に渡り使用できる事によりメリットが多くなる。

## 《MIOX Virus Buster Waterの位置付け》

MIOX Virus Buster Waterは、厚生労働省の【食品衛生法 通知 衛化第31号「いわゆる電解水の取扱いについて」厚生労働省医薬局食品保険部基準課添加物係】において、食品添加物の次亜塩素酸ナトリウムを希釈したものと同様という位置付けで認められている。



液体次亜塩素酸ナトリウムは、高温化及び時間が経過するに伴い有効塩素濃度が減少し、高温下では塩素酸などの発がん性物質に変質する。MIOX Virus Buster Waterは温度には殆ど影響受けず劣化に強い。

消毒対象物						消毒剤の区分	対象微生物											
環境	器具		手指・皮膚	粘膜	排泄物		消毒剤	一般細菌	緑膿菌	MRSA	梅毒トレポネマ	結核菌	真菌	芽胞	ウイルス	エボウイルス	HIV	
	金属	非金属																
×	○	○	×	×	×	高水準	過酢酸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
							グルタール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
							フタール	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
							Virus Buster Water	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	△	○	○	○	○	中水準	次亜塩素酸ナトリウム	○	○	○	○	△	○	△	○	○	○	
○	×	○	△	△	○		消毒用エタノール	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
×	※1	※2	○	×	×		オキシドール	○	-	-	-	×	△	○	-	○		
×	×	×	※6	※6	×													
○：有効 △：注意して使用 ×：使用不可						○：有効 △：効果が得られにくい、高濃度の場合や時間をかければ有効となる ×：使用不可												

※1：長時間浸漬時には防錆剤添加

※2：合成ゴム、合成樹脂製品などを変質・変色することがある

※6：創傷部位のみ

# 各除菌剤の比較 - 2

	濃度 (%)	指定薬品分類	食品添加物指定	価格 (5段階)	反復使用	pHの影響	炭酸塩の除去	揮発性・刺激臭
グルタール	2 ~ 3.5	-	無し	3	可	酸性で殺菌力減弱	-	特強度
フタル	0.55	劇薬指定	無し	4	可	アルカリ性で殺菌力減弱	-	強度
過酢酸	6	劇薬指定	一部あり	5	可	アルカリ性で殺菌力減弱	可能	中度
Virus Buster Water	0.45 ~ 0.55	食品添加物	有り	3	不可	酸・アルカリ性で大きく左右されない	可能	低度
次亜塩素酸	6 または 12	食品添加物	有り	2	不可	アルカリ性で殺菌力減弱	不可	中度

## <器具洗浄（内視鏡など）>

0.05（500ppm）～0.1%（1,000ppm）に精製水で希釈し洗浄機に入れて使用。芽胞菌の除菌には、1000ppmで10分洗浄することを推奨。一般的には、500ppmで5分～10分で除菌可能。有機物や蛋白質汚染が著しい場合は、2回に分けて洗浄を実施する。

## <ウイルス汚染血液>

MIOX Virus Buster Waterは、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスなどの汚染血液の除菌にも使用可能。0.1%（1,000ppm）液含浸ガーゼ（レーヨン製）などでの2度拭きを行う。

MIOX Virus Buster Waterは有機物や蛋白質と反応することで有効な除菌消毒効果をもたらす。有効塩素濃度を維持する為には、有機汚染が著しい場合には、1回荒洗浄を実施し有機物汚染が低減した後に、2回目の本除菌をすることを推奨。確実な除菌効果を得ることが可能となる。

MIOX Virus Buster Waterの酸化特性上、金属に対しての腐食は少なからず発生するが、除菌後の二次洗浄を確実に実施することにより腐食の低減が可能。

## <環境全般>

MIOX Virus Buster Waterは、MRSAなどの一般細菌のみならず、芽胞菌、ノロウイルスやクロストリジウム・デューフィシル（偽膜性大腸炎の病原菌）の芽胞で汚染された環境の除菌にも有効。

一般除菌類には0.01%（100ppm）液になる様に希釈。ウイルスや芽胞には0.1%（1,000ppm）液での清拭を行う。汚染度により2度拭きを行うことにより効果が向上する。

## <トイレの取っ手・トイレの床・便座・トイレドアのノブ・蛇口など>

100ppmに希釈した液に浸したペーパータオル・布等で拭き、除菌後、水拭きをする。

## <嘔吐物・便など>

MIOX Virus Buster Waterの原液（4500～5000ppm）を用意。あらかじめ固形分を清掃した後に除菌液を散布。30分放置した後に水または熱湯で洗い流す。

- 人から人への新型コロナウイルス感染予防の除菌にも、次亜塩素酸水よりも残留性があり多くの細菌やウイルスを不活性化するMIOX Virus Buster Water混合除菌剤が大変有効。
- 手の消毒にはエタノール（アルコール）の使用が一般的だが、アルコール消毒は手に液を振りかけた瞬間だけ消毒ができるが消毒力は持続せず、継続的に消毒を続けないと効力が無い。
- パナソニックなどのメーカーが、次亜塩素酸を薄めた溶液で販売しているが、次亜塩素酸は危険物であり濃度のコントロールが難しく、結合塩素になり臭いなどの副生成物が発生する。
- MIOX Virus Buster Waterは、濃度コントロールも容易であり全く危険性が無い。
- 加湿器にMIOX Virus Buster Waterを薄めて使用するだけで空間除菌が可能。
- 大きな施設では、空調機に組み込むスプレーノズル等にMIOX Virus Buster Waterを薄めて使用して全館除菌が可能。
- 廊下や手すりの掃除の際、MIOX Virus Buster Waterを薄めて雑巾などに浸して使用すれば接触感染を防ぐ。
- 食堂や食材、浴室などでもMIOX Virus Buster Waterを使用できる。
- 嘔吐にはMIOX Virus Buster Water溶液の500ppmを噴霧。拭き取り掃除の後、30ppm程度の溶液で除菌をする。
- 多数が利用する大型スポーツクラブなどでは、ロッカールームや器具が感染源と成り得る為、常に除菌をしておくことが重要。MIOX Virus Buster Waterを希釈して噴霧、あるいはダスターにつけて拭き取ると感染予防に。